

2050年の美濃加茂市のまちの姿を考える

—現庁舎の課題とこれからの方向性—

平成29年3月29日

第2回 美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会

第2回委員会の主な議題

- ①現庁舎の課題整理
- ②新庁舎に求められる基本機能
- ③新庁舎整備の事業手法及び候補地等の比較分析
- ④新庁舎をいかしたまちづくり構想

市長から本委員会に対する諮問事項「美濃加茂市新庁舎整備基本構想について」

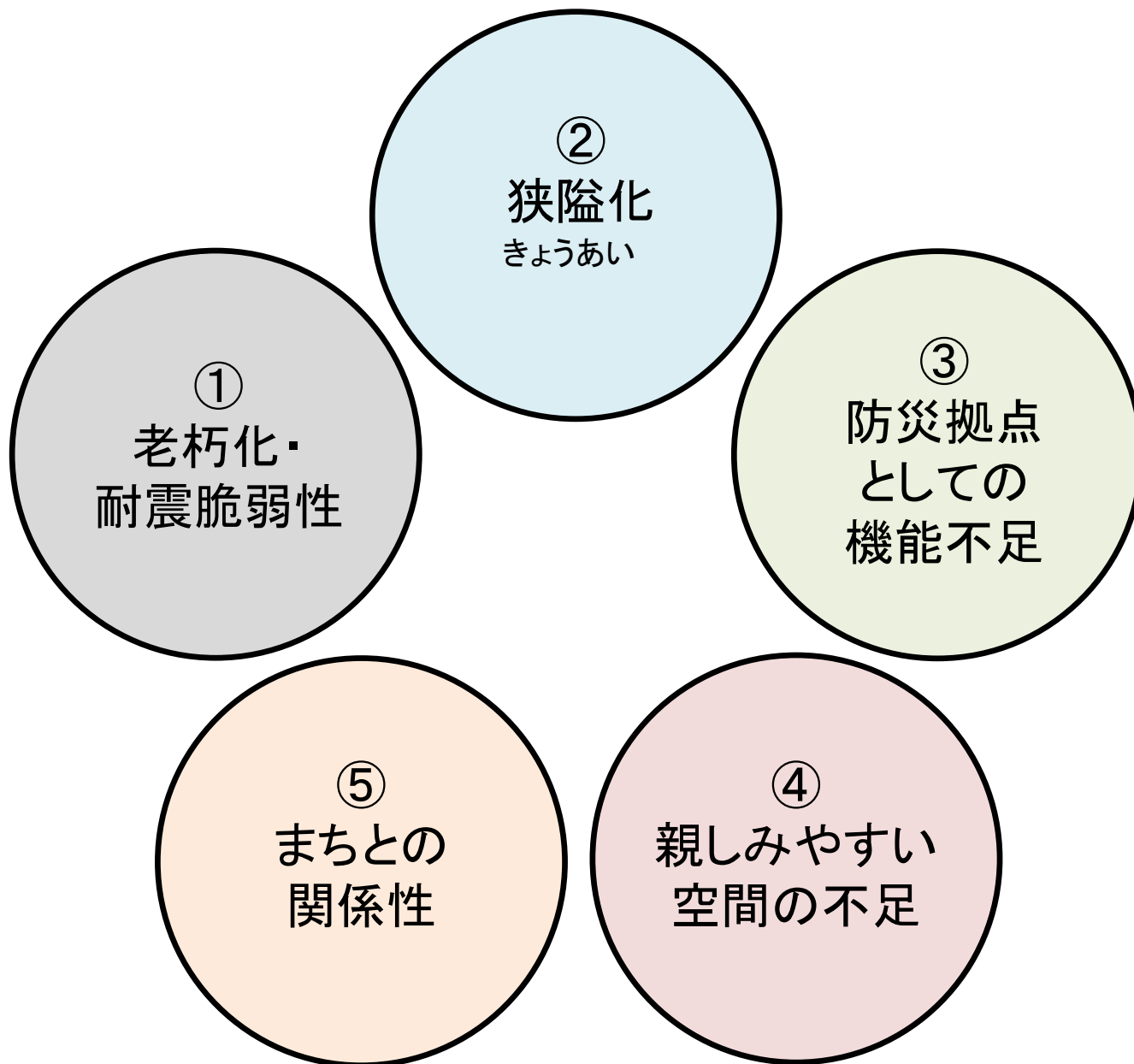
1. 現庁舎の課題

市庁舎

本庁舎		分庁舎		その他		
本館 築55年RC造		西館 築37年RC造				
1階	市民課 こども課 介護保険課 国保年金課 会計課	1階	福祉課 税務課	生涯学習センター		
	2階		2階	2階	生涯学習課 健康課 環境課 家庭児童相談室	
総務課 人事課 防災安全課 防災会議室 地域振興課 財政課 企画課 秘書広報課 市長室・副市長室		収税課 土木課 消費生活相談室 記者クラブ			上下水道課	築35年RC造
都市計画課 産業振興課 農林課 監査委員事務局 施設経営課		長寿福祉課 学校教育課 教育総務課			プラザちゅうたい	
3階	4階	4階	総務課	スポーツ振興課		
			5階	ランチルーム	文化の森	
	議場 正副議長室 議会事務局 施設経営課		土地改良区 介護保険課	文化振興課		
				山之上交流センター		
				まちづくり課		

RC造: 鉄筋コンクリート造、S造: 鉄骨造

課題の分類



① 老朽化・耐震脆弱性（本館・西館）

躯体について : 複数のクラックが発生（特に本館で多くみられる）

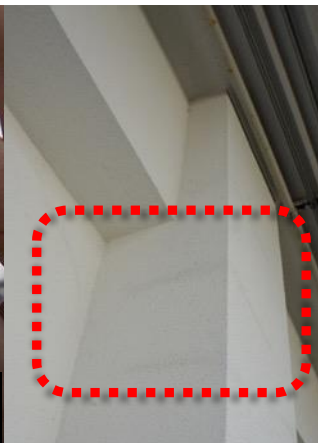
内外装について : 老朽化により仕上材落下の危険性が高くなっている箇所有り

設備機器について : 老朽化により効率の一部機能の低下や不具合が発生

本館



躯体に複数のクラック



タイルの落下

西館



外壁部分の漏水あと

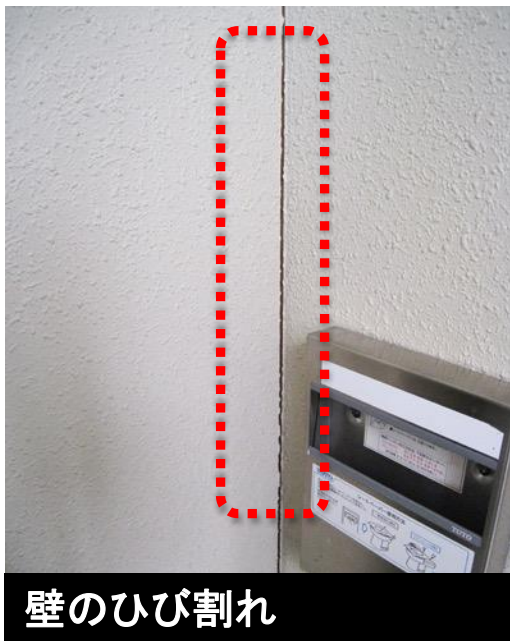


渡り廊下の軒天仕上げの剥れ

① 老朽化・耐震脆弱性（分庁舎）

- 躯体：本庁舎に比べ躯体自体の劣化はみられない。
内外装材：壁にひび割れが発生。天井に雨漏り補修跡有り。
設備機器：器具の不足や不適切な配置といった問題有り。
（4階建てのうち様式トイレがあるのは4階のみ）

分庁舎



② 狭あい化

本庁舎：市民サービススペースと執務スペースが手狭。

倉庫や打合せスペースが不足。託児場所がない。

分庁舎：本庁舎に比べ執務スペースは広いが、市民サービススペースは手狭。

駐車場：本庁舎も分庁舎も駐車場は不足。



③ 防災拠点として機能不足

本庁舎は、耐震補強を施しているものの、大地震があった際に建物自体の損傷や設備機器の破損などにより、災害対策の中核拠点としての役割が果たせない恐れがある。



配管の劣化



躯体自体の損傷

④ 親しみやすい空間の不足 ・ ⑤ まちとの関係性

エントランスや市民サービスの窓口などが暗く、市民を迎え入れる雰囲気がない。市民開放スペースが少ない。また、ユニバーサルデザインに配慮できていない箇所が随所にみられる。



市民を迎え入れる雰囲気がないエントランス



車椅子への配慮が不十分な議場

施設の耐用年数

物理的耐用年数

日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」による建築物全体の望ましい目標耐用年数は次の表による

構造	代表値	範囲	下限値
鉄筋コンクリート造	60年	50～80年	50年

※美濃加茂市公共施設等総合管理計画では平均値の65年を採用し更新費用を試算。

経済的耐用年数

財務省で定めている、建物における原価償却資産としての法的耐用年数

事務所	鉄筋コンクリート造	50年
-----	-----------	-----

平均寿命の推移

建物の平均寿命による参考値(建物が実際に存在した年数を建物の寿命と呼び、その平均値を平均寿命と呼ぶ。)

事務所	鉄筋コンクリート造	1997年	2005年
		45.63年	51.39年

「建物は何年もつか」(早稲田大学 教授小松幸夫)より



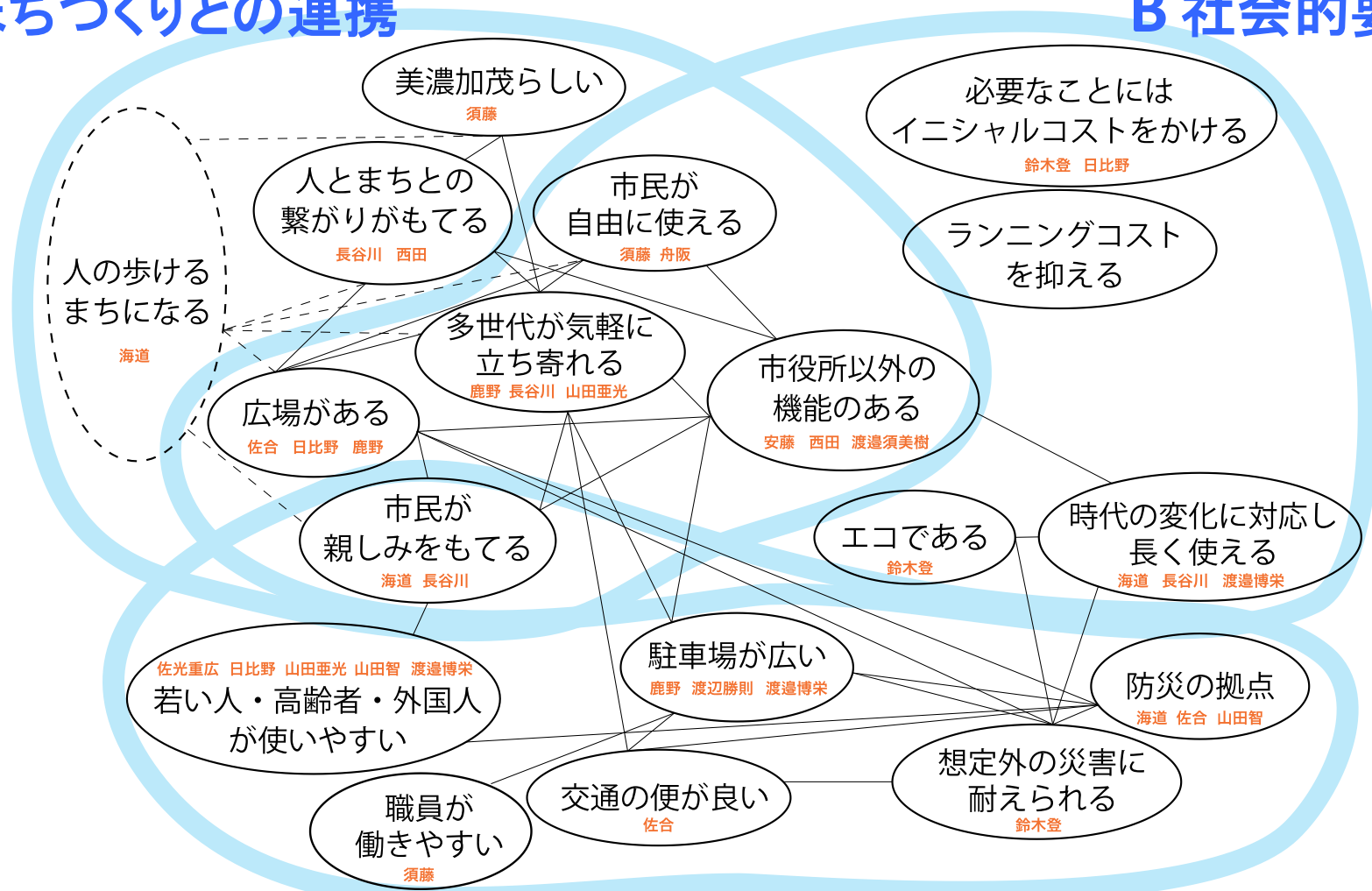
**本館は築年数が56年(H29年4月現在)
そろそろ何か手を打つ必要がある**

2. これからの方向性

庁舎整備に必要な考え方(委員意見) 敬称略

C まちづくりとの連携

B 社会的要請



A 庁舎機能の改善

庁舎整備に必要な考え方

A 庁舎機能の改善

- a 働きやすい執務環境
(市民サービス向上のため)
- b 経済性の確保
- c 環境配慮
- d セキュリティの確保
- e 耐震性、安全性
- f 水害対策
- g ユニバーサルデザイン
- h 親しみやすい空間

B 社会的要請

- j 社会情勢の変化
高齢化、少子化
人口減少
技術革新(IT, AI, IoT)
- j 庁舎の役割
- k 市政のあり方
市民のニーズ
職員の働き方
市の財政状況
- l 災害対策拠点としての機能

C まちづくりとの連携

- m 庁舎周辺のまちづくり
- n 他地区との連携

【考えるべきこと】



【実現させる手法】

- ①ハード面での対応
- ②運用面での対応
- ③デザイン面での対応
- ④コスト面での対応

先進事例（新潟県長岡市庁舎）

【考えるべきこと】

A 庁舎機能の改善

h 親しいやすい空間

B 社会的要請

j 庁舎の役割

k 市民のニーズ

×

【実現させる手法】

①ハード面での対応

- ・駅に直結した立地
- ・半屋外の広い市民広場

③デザイン面での対応

- ・親しみが持てるデザイン



C まちづくりとの連携

m 庁舎周辺のまちづくり

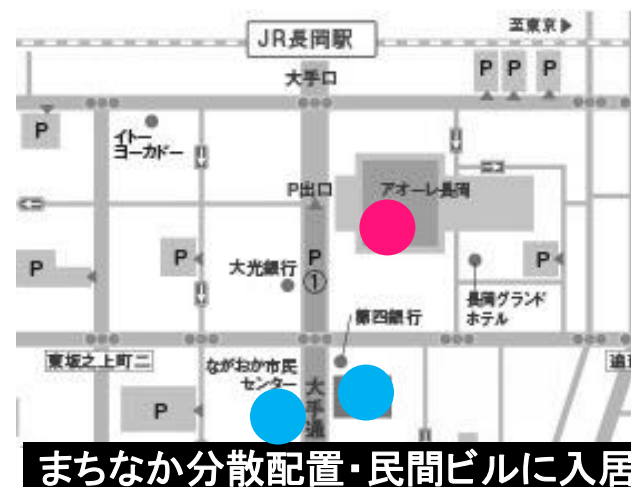
×

①ハード面での対応

- ・庁舎を分散配置させ、まちなかの市民回遊を狙う

②運用面での対応

- ・分庁舎は民間ビルに入居



先進事例（富山県氷見市庁舎）

【考えるべきこと】

A 庁舎機能の改善

f 水害対策

B 社会的要請

k 市の財政状況

l 災害対策拠点

×

【実現させる手法】

①ハード面での対応

・廃校となった高校の体育館を利用（リノベーション）した庁舎



富山県氷見市庁舎

先進事例（愛知県高浜市庁舎）

【考えるべきこと】

B 社会的要請

j 社会情勢の変化
人口減少
技術革新

k 市の財政状況

×

【実現させる手法】

①ハード面での対応

④コスト面での対応

・土地は市、建物は民間所有で、民間事業者が工事を行い市が賃借料を支払う



愛知県高浜市庁舎

先進事例（山梨県山梨市庁舎）

【考えるべきこと】

B 社会的要請

k 市の財政状況

C まちづくりとの連携

m 庁舎周辺のまちづくり

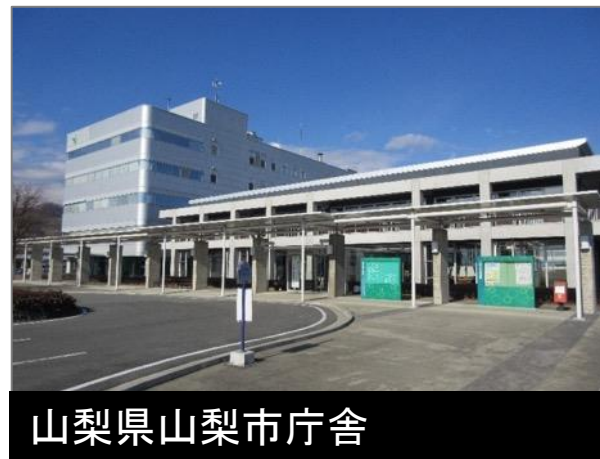
【実現させる手法】

① ハード面での対応

④ コスト面での対応

×

・閉鎖した民間工場を利用



先進事例（東京都豊島区役所）

【考えるべきこと】

A 庁舎機能の改善

e 耐震性・安全性

B 社会的要請

k 市の財政状況

【実現させる手法】

① ハード面での対応

④ コスト面での対応

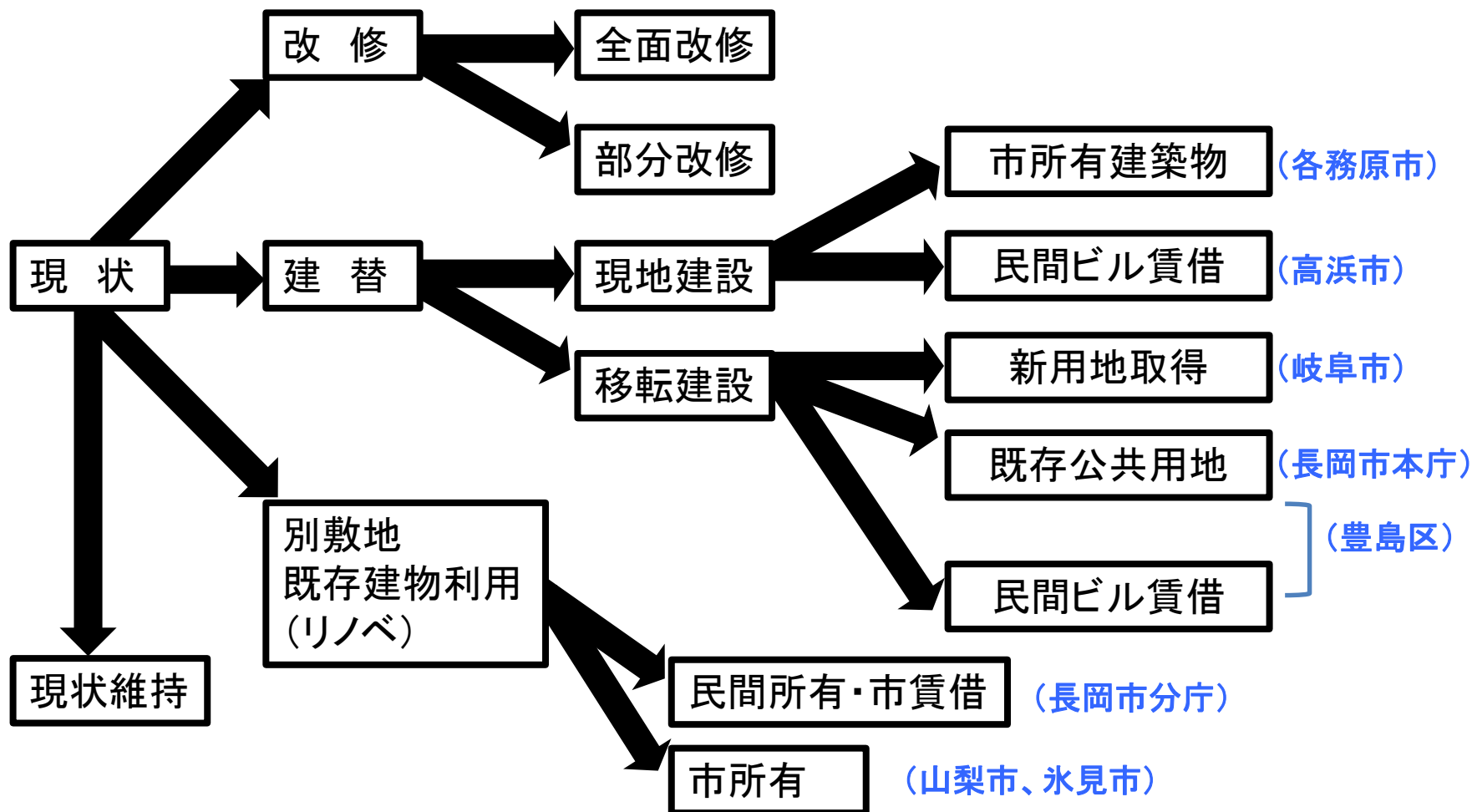
×

低層部が区役所、上層階がマンション



実現させる手法(ハード面・運用面の分類)

一般的な庁舎整備の選択肢

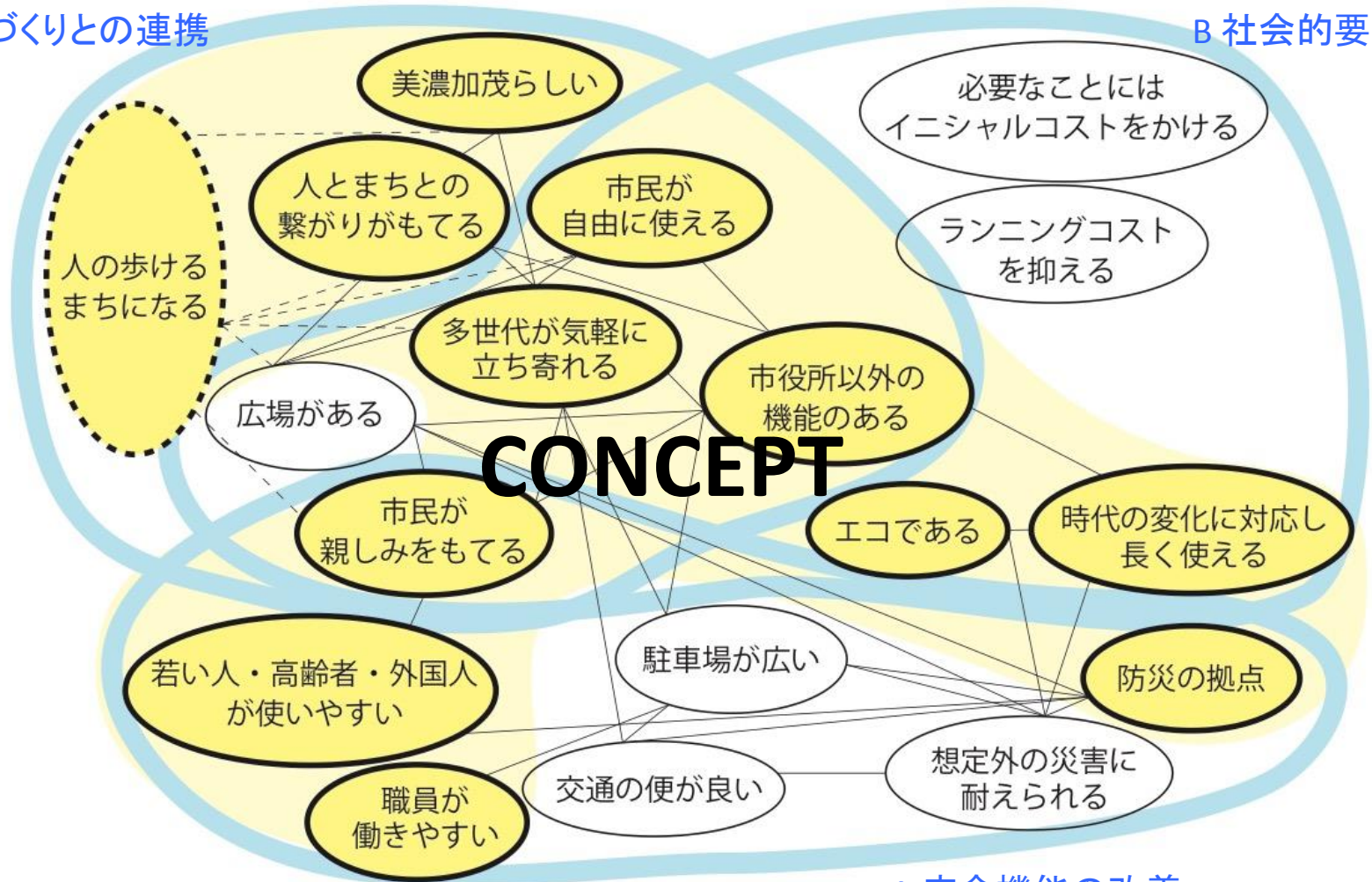


※建物配置については、集中型と分散型の2通りがある。
※分散型の場合は複数の手法をとる場合がある

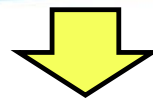
市民みんなが幸せを感じる庁舎のある未来とは？

C まちづくりとの連携

B 社会的要請



A 庁舎機能の改善



みんなが大切にしたい考え方(コンセプト)を深め、
市民に思いを伝えるために絵を描く